

# 羅臼町議会だより

# しれとこ



佐野市郎氏



石井勇幸氏

最高齢の昆布漁師（共に76歳）

平成21年

第123号

8月10日

第2回定例議会・臨時議会 .....	2～3
一般質問 .....	4～9
行政視察 .....	10～11

# 委員会構成が変わりました!!

委員会の任期が2年で終わり、新しく委員会構成が決定しましたのでお知らせいたします。  
今後共、委員会を通じ、よりよい議会運営を行っていきたいと思います。  
どうぞよろしくお願ひします!!



委員  
村山修一  
(58歳)



委員  
高島譲二  
(58歳)



委員  
坂本志郎  
(60歳)



副委員長  
小野哲也  
(42歳)



委員長  
鹿又政義  
(59歳)

総務民生常任委員会



委員  
松原 臣  
(56歳)



委員  
田中 良  
(56歳)



委員  
山下 崧  
(70歳)



副委員長  
湊屋 稔  
(46歳)



委員長  
佐藤 晶  
(59歳)

経済文教常任委員会

“ “ “  
小野哲也 鹿又政義 松原 臣  
議会議員  
村山修一

根室北部廃棄物処理広域連合

“ “ “  
鹿又政義 佐藤 晶 松原 臣  
議会議員  
村山修一

根室北部消防事務組合

“ “ “  
小野哲也 鹿又政義 松原 臣  
議会議員  
村山修一

根室北部衛生組合

“ “ “  
佐藤 晶 鹿又政義 田中 良  
副委員長  
小野哲也  
委員  
佐藤 晶

議会運営委員会

専決処分

基金積立金

五、〇二〇万円

町道維持補修及び除雪に要する経費 二八〇万円

繰越明許費

地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金事業 三五一万円

地域活性化・生活対策臨時交付金事業 一億七六万円

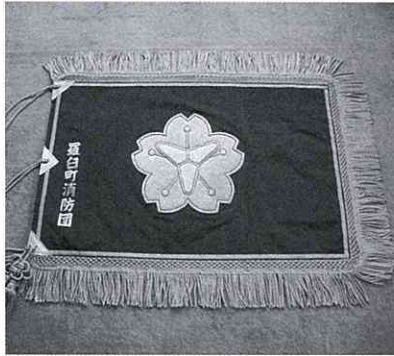
定額給付金給付事業

一億一、〇〇七万円

子育て応援特別手当交付金事業 三九九万円

◎次ページ下段へ続く

平成21年  
第2回  
臨時議会



羅臼消防団団旗

一一〇万円

専決処分

根室海区漁業調整委員会委員選挙に要する経費

二四八万円

一般会計

平成21年  
第3回  
臨時議会

商工労働振興に要する経費  
五一五万円

教育団体・各種委員会等に要する経費  
三〇万円

前年度繰上充用金  
二億三〇〇万円

人事案件

監査委員の選任

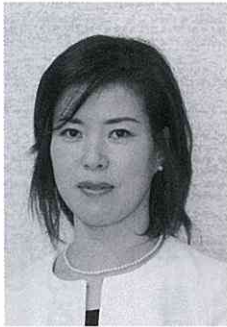
\*中村一也氏



任期 平成二十一年六月一日  
平成二十五年五月三十一日

教育委員の任命

\*田中紅美子氏



任期 平成二十一年六月一日  
平成二十二年一月二十四日

6月定例

(単位:円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額
2 総務費	1 総務管理費	地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金事業	14,034,000	3,510,000
		地域活性化・生活対策臨時交付金事業	100,757,000	100,757,000
		定額給付金給付事業	111,777,000	110,066,000
3 民生費	2 児童福祉費	子育て応援特別手当交付金事業	4,159,000	3,989,000
		合計	230,727,000	218,322,000

一般会計繰越明許費  
繰越計算書

平成21年  
第2回  
定例議会

一般会計

基金積立金 一二万円

まちづくり基金積立金

二六八万円

出納事務に要する経費

八万円

自治会に要する経費

一〇〇万円

町営住宅に要する経費

一六一万円

老人保健事業特別会計繰出金  
六八万円

老人保健事業特別会計

医療給付費 一〇二万円

医療支給費 四万円

国庫負担金等精算金  
一九万円

行政報告

- ・定額給付金等の給付状況について
- ・大雨による被害状況について
- ・鮮魚取扱高について

介護保険事業特別会計

国庫負担金等返還金

五二万円

一般会計

飛仁帯小学校閉校記念事業補助金  
七〇万円

臨時議会  
行政報告

- ・新型インフルエンザ対策連絡会議の設置について
- ・飛仁帯小学校の適正配置計画について
- ・拿捕漁船の返還について
- ・北方四島ビザなし交流への参加について
- ・国保診療所の医師招へいについて
- ・火災発生について
- ・消防団旗製作に係る指定寄附受納について

# 定例議会

# 質問

5名、10件の質問が提出され、町長・教育長の考えを問いました

**国保税の住民負担は限界である。引き下げを検討し、実行すべきである**

坂本 志郎 議員

羅臼町の国保税は、一人当り平均、約十二万七千円である。道内一八〇自治体の平均額は約八万二千円で羅臼町は三割以上高い、全国一高額な国保税である。所得に占める割合（負担率）で見ると

所得水準	負担率
35万	20 %
100万	17 %
300万	15 %
400万	13 %
500万	12 %
700万	10 %
900万	8 %
1,000万	7 %
1,500万	5 %

所得の少ない人ほど負担が重く、所得の多い人ほど負担が軽くなっている。これは、国保税は課税の限度額が六十九万円と定められているため、所得がどれほど多くても六十九万円以

上課税されないためである。本来、負担能力に応じて納めるという税の公平性から考えても、所得の多い人ほど負担が軽くなる不公平な制度である。

国は限度額の引き上げを検討しているようだが、羅臼町として、最も負担の重い中間層の負担軽減を図るべく、応益負担から応能負担（能力に応じて負担する）へシフトする、一般会計から国保会計へ繰り入れをするなど検討し、国保税引き下げを実施すべきである。

町長

**他の財源からの支援は大変難しい状況にある**

国保税を引き下げ、住民負担を軽減するための対策については、現在の財政状況から他の財源からの支援は難しい状況にある。今後更なる徴収努力を行うとともに、医療費の削減対策と

して保健活動の積極的な推進や、医療・保健・福祉の連携などにより実施していく。

**緊急医療情報キット・命のバトンの普及活動が、町内会単位で進められているが行政としての把握と支援についての考えは**

坂本 志郎 議員

町長

**町内会と連携を図りながら推進していきたい**

らうす命のバトンについて、羅臼地域医療研究会を中心に、連合町内会の呼びかけもあり、各町内会で、情報キット「命のバトン」の普及活動が進んでいます。これまで町としても、消防や診療所の医師の意見を

取り入れ、救急情報の内容など協議してきましたが、設置されたあとも、情報の更新などが必要なので、今後各町内会との連携を図りながら推進していきたい。又、診療所として過日、バトンのサンプルを近隣の病院へ持参し、町民が主体的に取り組んでいるこの活動についての理解と協力をお願いしてきた。こうした町民主体の運動が拡充していくよう行政として支援していきたい。

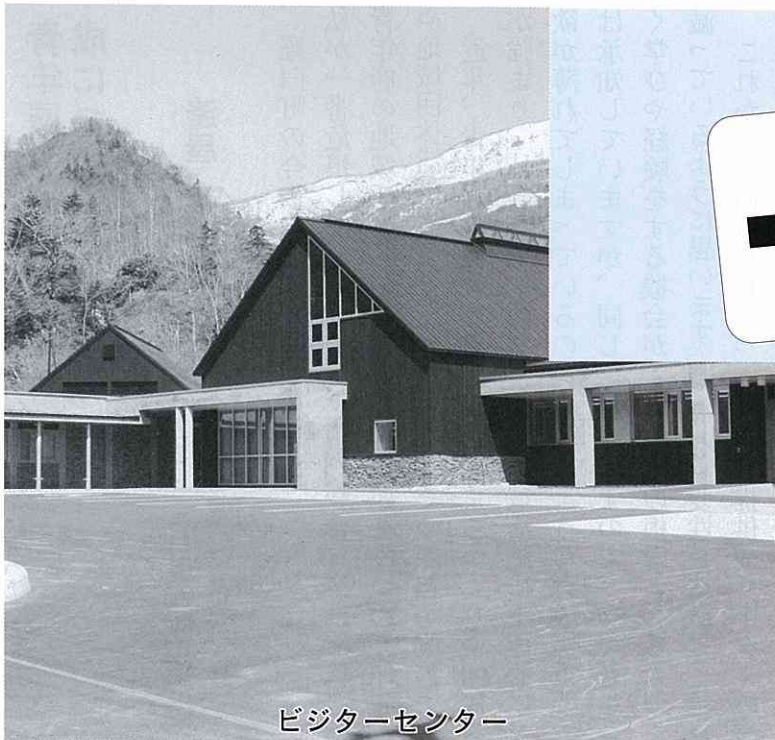


命のバトン

平成21年6月25日

一

般



ビジターセンター

坂本議員による  
その他の質問

- 医療・保健・福祉に関して
- 医療・福祉の連携による中間施設の役割について
- 中標津・標津との医療連携について
- 障がい者施設「とっどる」の運営状況について

●地域活性化・経済危機対策臨時交付金に関して

羅臼町のCO<sub>2</sub>排出量などの環境指数について

湊屋 稔 議員

知床が世界自然遺産に登録後、ビジターセンターやフィールドハウスなどの箱物の建設はされましたが、それらの建物には、維持管理費が必要となり、かかる町費は決して安くはないと思います。そこでこれから国などの交渉カードとして又、町の環境への感心を高めるため羅臼町のCO<sub>2</sub>排出量や酸素供給量などの環境指数を調べておくべきと考えます。

町長

温室効果ガスの排出量を把握することは必要である

羅臼町の温室効果ガスの排出量を把握することは、議員ご指摘のとおり必要で

あると感じております。より正確な排出量を算出するとなると全世帯の年間電力使用量や石油類使用量を調査しなければならず、可能かどうかも含め検討してまいります。



フィールドハウス

## 青年層の教育や育成について

湊屋 稔 議員

羅臼町の今後を考える時私が一番危惧しているのは青年層の地域活動への参加や地域団体活動の激減です。

近年、青年層の個人志向が強まり、社会参加への意欲が薄れてしまっているのは承知していますが、同じく学びや経験をする機会が減っているように思います。

これから羅臼町を背負っていかなければならない若者に学びや経験の機会を増やし、きっかけづくりを通じリーダーの発掘、育成をはかる必要があると思いますが、教育長はどのようなようにお考えでしょうか。

又、町長にお伺いします。緊縮財政の中でも、これから羅臼町をリードしていく若い職員の学びや経験の機会を奪うことなく、今後にも積極的に指導していただ

くことをお願いいたします。

教育長

### 人づくりの重要性を認識している

青年教育事業は、自己の生活課題をみつめ、仲間とともにその課題を改善するなど、まちづくりや団体活動、地域活動に主体的に参画するような育成が重要でありますので、今後もまちづくりの根幹となる人づくりの重要性を認識し、学習機会の提供やリーダーの発掘、育成、情報提供に努めてまいります。

町長

### 人材交流や派遣事業は今後も進めていきます

現在も行なってきたとおり、道庁などとの人材交流や派遣研修事業は、一定の効果がありますので今後

も積極的に進めてまいります。緊縮財政の中で、職員のモチベーションが下がらないよう職場の長としても、そのような思いでやっていきたいと思っております。



漁 出

## 常勤内科医の招へいの強化を図るべきである

高島 讓二 議員

診療所となって常勤医二人体制は維持されておらず、常勤医は外科医である所長お一人によって不安定な体制で運営されております。本町では、内科、外科の患者比率は概ね二対一で内科が多く収入においては七割八割が内科によるものである。したがって内科医の不在は町民の不安、診療収入においても大きな影響を及ぼしております。したがって常勤内科医の招へいは急がねばなりません。どのような方法で招へいに努力されているのか。また、全町あげて「医師確保対策室」または「医師確保対策チーム」を設置し、医師招へいの強化を図るべきと提案します。



町長

「医師確保対策室」  
の設置は考えていない

医師招へいの方法は羅臼町のホームページに動画の掲載、インターネットの活用、北海道医師確保推進室北海道病院協会などの関係機関への要請、及び医師向け雑誌への掲載、議員や町民の皆様からも情報を頂いている。効果として問い合わせが四件あったが、常勤医招へいまでには至らなかった。

ご提案の医師確保対策室、チームについての設置は考えていない。

### 新型インフルエンザ対策

高島 讓二 議員

新型インフルエンザについてWHO（世界保健機構）は、今月、警戒水準をフェーズ6の世界的大流行に引き上げました。

自治体の対策として、抗インフルエンザ薬の備蓄の必要があると思うが、これらの対策は。

町長

### 備蓄を前提として考えている

現在、五十人分の抗インフルエンザ薬の備蓄があるが、状況を見据え百〜二百人分の準備をする。



抗インフルエンザ薬

### 診療所建て替え計画について

高島 讓二 議員

現在、町が進めている計画は、診療所建て替えのみですが、特養、老健等の福祉施設のない本町にとって必要である事は明白であります。これら福祉施設の建設、併設する等安心して暮らせる町づくりを目指すビジョンについて、また、どのような施設が必要であるかを含め町民の皆様と直接

お話しあいのお機を持つ必要があると思うが。

町長

### 議会特別委員会の検討結果も踏まえ慎重に考える

現在、これらを他町に頼っているが現在の財政状況では、これらの施設の整備年度を示せる状況ではない。議会の「診療所建設調査特別委員会」でも福祉関連施設の検討を頂いているようだが、その結果も踏まえ慎重に考えたい。

特養、老健等の必要性については、強く認識している



## 羅臼町環境白書について

高島 讓二 議員

昨年の六月定例会で本町の環境基本条例に基づく環境基本計画、年次報告の有無について質問しました。しかしながら作成されておらず陳謝され、平成二十一年度中に「羅臼町環境白書」として作成し、公表するとの答弁をされたが、一年経過した現在、未だに公表されておられません。

本条例は、本町が世界自然遺産「知床」を抱え、また水産業が基幹産業であるなど、自然の恵みを受け、生活が営まれています。

本町の産業の将来や環境保全に対する姿勢など極めて重要な条例でございます。「羅臼町環境白書」はいつ公表されるおつもりか改めて伺います。

町長

## 環境白書は八月末に公表する

町長

昨年の第二回定例会において、環境白書の作成については十月末を目途に作成し公表すると答弁したが、昨年六月以降の頻繁に出没した熊や鹿対応に追われ公表出来なかった。申し訳なく思います。本年八月末に公表する事としております。

## 公住使用料滞納について

小野 哲也 議員

現在の町営住宅における様々な数字的、及びシステムの諸条件を明確化し、問題点を明らかにした上で、現在の取組を更に深め、その上で町長は今後、この問題をどのように対応していくのか？

町長

## 今まで以上の対応を強力に行う

ここ数年、収納率は上がってきており、住民の使用料に対する意識も変化していると感じる。

滞納者には、納入相談を行い、誓約書を提出してもらい、文書による督促、電話による督促などを行なっており、水道料の滞納がある場合は水道停止などの

## 町営住宅状況について

入居可能総数	270戸
現在入居数	252戸
老朽化	17戸
うち改修予定	10戸
H17年度収納率	90.16%
H18年度収納率	91.97%
H19年度収納率	94.89%
H20年度収納率	96.08%
H20年度収入額	53,841,530円
H20年度滞納額	2,196,699円
H20年度滞納世帯数	94世帯
H20年度までの滞納総額	46,907,286円

措置を行なっている。

税金を始め各種使用料を真面目に納めている方々と、悪質な滞納者とは、公平性の面から非常に問題であると考えており、滞納者へは条例に基づく「行政サービスの制限」を行なっています。具体的には住宅の補修制限と車庫証明書の不発行を実施する。

引き続き現年度の収納率アップと過年度分の具体的な収納対策をより強力に推

進し、悪質な滞納者や誠意のない入居者には、保証人

に対しての履行を強力に求めていく!!

## 一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。

質問、答弁の全文については、詳しくお知りになりたい方は、町役場総務企画財政課までお問い合わせ下さい。



公営住宅



## 産業活性化に向けた取組みについて

田中 良 議員

基幹産業である漁業を中心とした地域産業の活性化、地域の活力の再生を目指し、三月に「らうす産業活性化プラン」を策定しました。そのプランに基づき三本の柱であるところの

- ・ 地場水産品を核とした産業活性化
  - ・ 海洋深層水の活用による産業活性化
  - ・ 世界自然遺産「知床」の活用による産業活性化
- 以上をふまえながら現段階までの進捗状況について伺います。

町長

本プランに沿った取組を進めていくこととしています

本プランの推進について

着実な推進のため、プランの周知・推進・評価について示しています。今後は、らうす産業活性化協議会が中心となり、定期的に推進状況の点検・評価・情報交換・連絡調整などを行いながら着実な推進を図るとともに、状況に応じてプランの見直しなどの対応を進めてまいります。

## 学校教育について

田中 良 議員

統合による各施設の利用について、昨年四月に閉校となった知円別小中学校の利用状況は現在どのような進捗状況なのか。

当町では幼小一貫教育を始めたとして、幼小中高までの十四年間の教育を、幼稚



母ちゃんのごっこ市

園二校、小学校二校、中学校・高校各一校で進めるに当たり、当町の現在の考え方をお聞かせ下さい。

教育長

学びの接続と成長の継続につなげていく

知円別小中学校については、地域防災避難施設として整備し、教員住宅等是有効に活用すべく貸付や売却などの手立てをしている。また今後統合される二校については子どもたちの統合にむけた交流学习やPTAや町内会が取組んでいる閉校に関する各種記念事業が終わり、統合後、施設の活用方法を協議する事としている。

幼小・小・中・高までの教育につつましては「学びの接続と成長の連続」という視点で考え、幼児・児童・生徒の発達段階をふまえた幼・小・中・高の柔軟な連

携が極めて重要であると捉えている。

町政はあなたのために!!  
議会を傍聴してみませんか。



\*町議会の定例会は年  
四回(三・六・九・  
十二月)開きます。

\*町議会の臨時会は必  
要に応じて随時開き  
ます。

# 行政視察報告

〔更別村、医療法人「夕張希望の杜」、札幌・手稲溪仁会病院〕

高島 讓 二 議員

議会では、隔年で行政視察を行っております。

今回の行政視察は、本町の将来の医療ビジョンを考え、医療、福祉、保健の連携について先進的に実施している自治体、団体をピックアップし、十勝管内更別村、医療法人「夕張希望の杜」、札幌・手稲溪仁会病院の三か所を視察しました。

## \*更別村へ

バスにて帯広市から田園風景が広がる中、広尾方面へ約三十七km、四十分ほど南下すると人口約三千五百人、千二百二十六世帯、日本最大規模を誇る農業が基幹産業の村、更別村に到着します。

岡出村長様、木山議長様にお出迎え頂き約二時間、同席されご説明頂きました。更別村の医療、福祉、保健の連携は、総合福祉行政を進めるため「福祉の里」構想を樹立し医療、福祉、

保健の統合による複合機能を備えた施設として更別村



福祉の里総合センター（保健福祉課）を設置しています。

医療施設である国保診療所と福祉施設である老健、デイケア、老人アパート。またそれらに保健福祉課、社会福祉協議会の機能が備わった施設が連結され合理的に業務が進められるようになっていきます。

また数十メートル離れたところには、社会福祉法人

博愛会経営の小規模特養ホーム、ショートステイ、障害者居宅介護事業等を行っている「コムニの里」という生活支援部門があり、各分野の事業を一体化し、住民一人一人の個人の状況に応じたサービスを利用できる環境づくりが確立されてきました。

事業の連携にあたりソフトの面では、診療所所長を医師の専門的見地から総合アドバイザーとし、保健、

福祉、医療のそれぞれ担当者が連携強化のため、毎月定例で総合アドバイザー会議を行っております。

福祉の里構想は、平成四年に構想され、十年後の平成十三年、医療法人社団カレスアライアンスと医療業務提携する事により実行できる事となったとの事です。

また、三十数年前から各種健康診断を行い、受診率を高め病気の早期発見、予防医療を心がけ医療費を抑え数年前は国民健康保険税が全道一低い自治体であったそうです。

## \*我々一行は夕張を訪れました

夕張市立診療所の建物は夕張市の病院をそのまま受け継ぎ、平成十九年四月より医療法人財団夕張希望の杜が指定管理者として運営しています。また、診療所の建物の中に老健施設夕張があり、スタッフ総勢二十



六名で運営されています。多くの先生たちのご紹介を頂き、早速、所長の永森先生の「羅臼町の今後」と題して、ご講義を頂きました。

「理想的な未来の羅臼の姿は自宅でも施設でもない地域の家構想の時代へ」。

また、本町の介護保険の認定者の現状の分析をふまえ「二十五%が町外の施設を利用し、突然死でしか羅臼で最期の時を迎えられない」

「老いても病気になるっても安心して最期まで過ごせる町」を目指す。

「いつまでも元気で生き、病まずに死ぬために予防や治療をする」などのアドバイスをいただきました。

また、保健、医療、福祉を軸にした町づくり(メディコポリス構想)を奨められました。

永森先生に続き、横田久美子看護師長の在宅医療に

ついて講義を受けました。

「これからの社会は、高齢化社会に向かい病気でなく障害が増える。そのため、病院で治療するよりも、地域でケアしていくほうが、生活の質も上がり、お金もかからない」等。



その後ソーシャルワーカーの大島達也氏より「医療センターと老健施設の機能と連携」について講義を受けました。

理念としては、在宅復帰を前提とした中間施設としての老健を忠実に運営する。

老健とは、「自宅復帰を可能にするためのリハビリの場」入所期間は三〜六月医療保険は使えない。

特養とは、「生活の場であり、人生の終焉の場」入所期間に制限はない医療保険が使えない等の説明を受けました。

### \*手稻溪仁会病院へ

溪仁会病院は現在、急性期医療、特に救命救急センターとドクターヘリ基地病院的の指定を受け、二〇〇八年の洞爺湖サミットでは緊急基幹病院に指定されました。

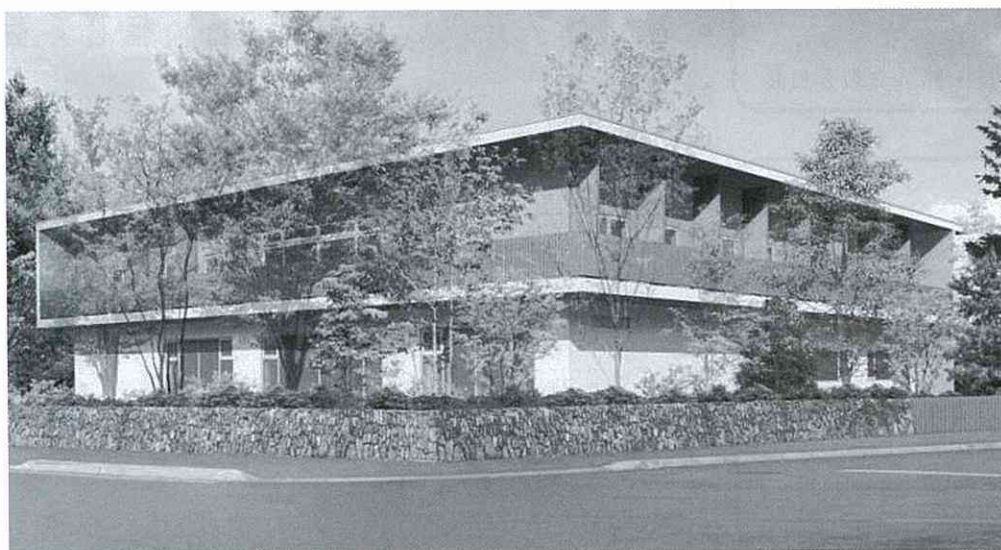
また、専門医療も充実しており、臨床研修に關しては将来の若手医師育成にも力を注ぎ、今では、小児からお年寄りまで幅広く診療可能な家庭医を目指す若手医師の育成に力を注いでいます。

手稻溪仁会病院の田中院長先生のご挨拶を頂いた後、

家庭医療センターの小嶋先生のご説明を頂きました。家庭医療センターの設立は新しく、本年十月に開院予定で幅広いプライマリケア(基本的診療、総合的診療)の提供、家庭医療とグ

ループ診療、予防医療、地域ケアまで含めた機能、また、診療機能に加え、家庭医の養成、研修機能、地域との架け橋となるよう連携機能を提供するとの事です。

小嶋先生は更別村のケースは家庭医、地域医療の理想の姿であり、学ぶところがあふれる。と述べられ、本町に是非一度、来



## 議会の動き

### 4月

- 28日 行政課題に対する議員懇談会  
全員協議会  
羅臼町商工会総会 議長・経済文教委員長
- 30日 議会運営委員会

### 5月

- 1日 経済文教常任委員会  
総務民生常任委員会
- 2日 知床横断道路開通式  
議長・副議長・経済文教委員長
- 8日 第2回臨時会  
知床羅臼町観光協会総会 議長
- 13日 中標津空港利用促進期成会臨時総会 議長
- 14日 さけ稚魚放流式 議長
- 20日 診療所建設調査特別委員会  
羅臼町連合町内会総会 議長
- 22日 議会運営委員会
- 24日 東京らうす会総会 議長
- 26日 経済文教常任委員会  
総務民生常任委員会
- 28日 第3回臨時会  
全員協議会  
道東4支庁管内町村議会議長会連絡協議会 議長

### 6月

- 2日 診療所建設調査特別委員会
- 3日 高規格道路釧路中標津道路期成会総会  
議長
- 4日 北海道町村議会議長会総会 議長・副議長
- 6日 ルサフィールドハウス開館記念式典
- 18日 議会運営委員会
- 23日 総務民生常任委員会  
経済文教常任委員会  
議会運営委員会
- 25日 第2回定例会  
羅臼町工業建設業安全大会  
議長・経済文教委員長

### 7月

- 6～8日 道内行政視察
- 11日 根室地方総合開発期成会要望会 議長
- 16日 議会だより編集特別委員会  
診療所建設調査特別委員会
- 22日 議会だより編集特別委員会
- 24日 診療所建設調査特別委員会
- 27日 議会だより編集特別委員会
- 28・29日 根室地方総合開発期成会要望 議長
- 30日 議会だより編集特別委員会
- 31日 診療所建設調査特別委員会

## 議会だより編集 特別委員会



委員長 高島 譲二 委員 田中 良稔  
副委員長 小野 哲也 委員 湊屋 稔

### 委員の抱負

現在の羅臼をとりまく状況、産業、観光、医療福祉、教育などを、みなさんに解りやすく、簡潔に表していきたいと思えます。

町民皆さんにとって解りやすく、有効な情報を提供できるようがんばります。

◆ ◆ ◆  
小野 哲也

◆ ◆ ◆  
何かと暗いニュースばかりの毎日ですが、羅臼町の明るい未来への取り

組みをわかりやすくお伝えしてまいります。多くの方に議会を身近に感じていただける紙面を目指し、頑張ります。

◆ ◆ ◆  
湊屋 稔

◆ ◆ ◆  
議会だよりを通して、現在の羅臼町の現状を伝えながら、羅臼の活性化を進めて行きたいと思えます。

◆ ◆ ◆  
議会だよりを多くの方々に読んでいただけるような紙面づくりを心掛けて行こうと思えます。

◆ ◆ ◆  
田中 良

### 編集を終えて

議会だより編集特別委員会委員長の任を頂き二年が経過しました。任期中、羅臼町のホームページに議会のコーナーを設け、議会だよりを広く皆様にお届けできたことは、大変有意義だったと思っております。

残り二年間、再度委員長の任をいただき、議会の活動を更にわかりやすくお伝えしていかなければと決意を新たにしております。

◆ ◆ ◆  
議会及び議会だよりにお気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

◆ ◆ ◆  
高島 譲二

